

CARTA

HOLDINGS

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 株式会社CARTA HOLDINGS 上場取引所 東
 コード番号 3688 URL https://cartaholdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宇佐美 進典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永岡 英則 TEL 03-4577-1453
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	18,464	13.1	3,554	37.8	4,019	65.0	2,574	87.5
2020年12月期第3四半期	16,321	—	2,578	—	2,435	—	1,372	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,336百万円 (174.3%) 2020年12月期第3四半期 1,216百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2021年12月期第3四半期	101.92	101.41	4,994	49.1
2020年12月期第3四半期	54.34	54.07	3,349	—

(注) 2019年12月期は、決算期変更の経過期間となり15ヶ月間（2018年10月1日～2019年12月31日）を対象とした変則決算となりますので、2019年12月期第3四半期は、2018年10月1日～2019年6月30日の連結経営成績を対象としております。このため、比較対象となる期間が異なることから、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）は、税金等調整前四半期純利益に支払利息、減価償却費、償却費、のれん償却費、固定資産除却損及び減損損失を加えた金額です。なお、2021年度より指標の有効性向上を図るため、固定資産除却損及び減損損失を加えるようEBITDAの定義を変更しております。従前の定義による2020年12月期第3四半期のEBITDAは、3,276百万円となります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	47,485	26,434	55.3	1,035.42
2020年12月期	49,259	24,553	49.5	967.47

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 26,277百万円 2020年12月期 24,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	8.00	—	40.00	48.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	百万円	%
通期	25,000	11.2	4,500	29.9	4,800	43.9	3,120	75.2	123.71	6,000	45.2

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社CARTA COMMUNICATIONS、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期3Q	25,380,832株	2020年12月期	25,469,852株
2021年12月期3Q	2,191株	2020年12月期	301,018株
2021年12月期3Q	25,255,579株	2020年12月期3Q	25,262,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年11月12日（金）に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。その説明会の動画については、当日使用する四半期決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場について、(株)電通の調べによれば、2020年のインターネット広告費は、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の低迷および広告出稿減少の影響を受けたものの他メディアよりも早く回復基調となり、2兆2,290億円（前年比5.9%増）となりました。

運用型広告費は、巣ごもり需要によってSNSやEC、動画配信サービスへの接触機会が増え、大手プラットフォームを中心とした運用型広告の需要が高まったことにより、1兆4,558億円（同9.7%増）となりました。また、マスコミ四媒体由来のデジタル広告費は、運用型広告の活用がさらに進み、803億円（同12.3%増）となりました。

こうした環境のもと当社グループでは、①メディアコミュニケーションを中心に広告の販売及びソリューションを提供する「パートナーセールス事業」、②広告配信プラットフォームを運営する「アドプラットフォーム事業」、③自社メディアや、EC・ゲーム・人材領域でのサービスを運営する「コンシューマー事業」の3セグメントにおいて事業を展開し、持続的な成長を実現するべく当社グループ全体での垂直統合を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,464百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益3,554百万円（同37.8%増）、経常利益4,019百万円（同65.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,574百万円（同87.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含む数値を記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドプラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。そのため、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①パートナーセールス事業

パートナーセールス事業では、メディアコミュニケーションを中心に広告枠の販売及びソリューションの提供を行っております。運用型広告や販促・EC関連サービスへの取り組み、自社商材・ソリューションの販売拡大等による、新たな収益源の獲得に取り組むとともに、業務効率化の推進により既存事業の収益を確保してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるパートナーセールス事業の売上高は8,146百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益は1,980百万円（同112.4%増）となりました。

②アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業では、運用型広告プラットフォームとして「Zucks」、「PORTO」、「テレシー」等の運営を、メディア支援サービスとして「fluct」や「BEYOND X」等の運営を行っております。各プラットフォーム及びサービスにおける機能の向上・拡充に取り組むとともに、顧客企業の需要を取り込み、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるアドプラットフォーム事業の売上高は5,431百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は1,349百万円（同1.1%増）となりました。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業では、「ECナビ」や「PeX」を中心とした販促メディアや、「神ゲー攻略」や「コトバンク」といったコンテンツメディアの運営に加え、EC・ゲーム・人材領域でのサービスの運営を行っております。既存メディアの規模拡大や成長領域への取り組みの強化を推進しており、特にEC関連事業においては、事業成長に伴う先行投資としての広告宣伝費が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンシューマー事業の売上高は4,902百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は224百万円（同27.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末より1,773百万円減少し、47,485百万円となりました。これは、主に売掛金及びのれんの減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末より3,655百万円減少し、21,050百万円となりました。これは、主に買掛金及び賞与引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末より1,881百万円増加し、26,434百万円となりました。これは、主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月6日の「2021年12月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,600	17,925
売掛金	17,697	13,611
有価証券	95	160
商品	29	33
貯蔵品	535	833
その他	3,097	1,821
貸倒引当金	△51	△51
流動資産合計	37,004	34,332
固定資産		
有形固定資産	1,276	1,522
無形固定資産		
のれん	2,317	2,027
その他	3,144	2,890
無形固定資産合計	5,462	4,917
投資その他の資産		
投資有価証券	3,959	5,339
繰延税金資産	155	189
その他	1,402	1,187
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	5,516	6,713
固定資産合計	12,255	13,152
資産合計	49,259	47,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,655	12,119
資産除去債務	70	—
賞与引当金	1,193	607
役員賞与引当金	24	6
ポイント引当金	515	522
未払法人税等	—	644
預り金	2,963	3,655
短期借入金	19	—
1年内返済予定の長期借入金	118	117
その他	1,725	1,709
流動負債合計	23,287	19,383
固定負債		
長期借入金	180	91
資産除去債務	397	397
繰延税金負債	596	888
その他	243	290
固定負債合計	1,417	1,666
負債合計	24,705	21,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111	1,195
資本剰余金	12,031	12,122
利益剰余金	11,046	11,725
自己株式	△264	△0
株主資本合計	23,924	25,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	463	1,225
為替換算調整勘定	△10	9
その他の包括利益累計額合計	452	1,234
新株予約権	7	6
非支配株主持分	170	150
純資産合計	24,553	26,434
負債純資産合計	49,259	47,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	16,321	18,464
売上原価	2,185	1,999
売上総利益	14,136	16,464
販売費及び一般管理費	11,558	12,910
営業利益	2,578	3,554
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	51
投資事業組合運用益	4	71
為替差益	—	261
持分法による投資利益	—	4
雑収入	13	84
その他	46	24
営業外収益合計	94	499
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	114	—
投資事業組合運用損	73	33
為替差損	46	—
その他	1	—
営業外費用合計	237	34
経常利益	2,435	4,019
特別利益		
投資有価証券売却益	166	258
関係会社株式売却益	46	—
その他	14	0
特別利益合計	227	258
特別損失		
固定資産除却損	72	75
投資有価証券売却損	77	2
投資有価証券評価損	31	63
持分変動損失	—	11
減損損失	—	74
その他	10	—
特別損失合計	192	227
税金等調整前四半期純利益	2,471	4,050
法人税等	1,042	1,495
四半期純利益	1,428	2,554
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	55	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,372	2,574

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,428	2,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	801
為替換算調整勘定	△0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△22
その他の包括利益合計	△212	782
四半期包括利益	1,216	3,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,160	3,356
非支配株主に係る四半期包括利益	55	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社の株サイバー・コミュニケーションズが新設分割により新たに設立した株CARTA COMMUNICATIONSを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月20日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月19日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式11,622株の処分を行いました。また、2021年6月15日開催の取締役会に基づき、2021年6月30日付で自己株式289,420株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が264百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は0百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,256	5,254	4,811	16,321	—	16,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	5	—	6	△6	—
計	6,256	5,259	4,811	16,327	△6	16,321
セグメント利益	932	1,335	311	2,578	—	2,578

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,146	5,415	4,902	18,464	—	18,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16	—	16	△16	—
計	8,146	5,431	4,902	18,480	△16	18,464
セグメント利益	1,980	1,349	224	3,554	—	3,554

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマー事業」において、連結子会社であるrakana(株)の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高のうち74百万円を当第3四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドプラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。